

平成27年12月9日
株式会社 中国銀行

地方創生の取組事例について

当行では、岡山県内の市町村と連携して、新たに平成27年11月に総務省の「地域経済循環創造事業交付金（1）」の交付決定を受けた以下の2件の事業を支援してまいります。

本件は、市町村を中心に地域が一丸となって、地域の課題解決を図る地方創生の好事例であり、当行は地域に根ざす金融機関として、この取組みに積極的に関与していきます。

市町村	新見市	矢掛町
事業名	地域資源を活用して新たに創出されるワイン事業に、高機能醸造設備を導入し、高品質ワインを生産する地域創造事業。	古民家再生ホテルと地域資源を活用した地域活性化事業。
事業主体	TETTA株式会社（2） 代表取締役 高橋 竜太	株式会社矢掛屋（3） 代表取締役 河口 弘
事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域になかったワイン醸造所等を新たに設け、生産ラインを確立することで、多様な主体と連携し、新商品等の開発をおこなう。 ● 耕作放棄地を活用してブドウを栽培。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 古民家を改装し、伝統の趣にモダンを調和させた宿泊施設の運営。 ● 町所有の古民家を『宴どころ』として再生し、宿泊事業とも連携をおこないつつ、地域交流拠点として活用。
公益的効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ブランド化 ● 食を通じた観光振興 ● 雇用増加（ブドウ栽培、醸造） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光産業の創出 ● 地産地消の促進 ● 雇用増加（ホテル、飲食、物品販売）
交付申請額	20百万円	16百万円
融資予定額	20百万円	16百万円
担当支店	新見支店	矢掛支店
支店コメント	本件は、新見市の地域資源であるワイン用ブドウを活用し、新見をワインリゾートとするため、地域にワイナリーを開設する事業であり、地域におけるワイン産業の創出を支援したい。	本件は、地域の観光資源である江戸時代の風情を残した歴史的町並みを保存・活用することにより賑わいを創出するオール矢掛で取組む一大プロジェクトであり、矢掛町の発展に協力したい。

（1）「地域経済循環創造事業交付金」について

「地域経済循環創造事業交付金」は、地方自治体が、地域の金融機関と連携して、地域の資源を活用して雇用を生み出す、先進的で持続可能な事業を支援する場合に、その事業化費用の一部を総務省が交付金として交付するものです。

なお、当行の連携事例は、美作市に続き、本件の新見市と矢掛町で3件になります。

(2) T E T T A 株式会社のコメント

ブドウの産地である新見において、全ての原料のブドウ栽培から醸造までを手掛ける、岡山県内初のドメーヌワイナリーを設立し、上質なワイン造りを目指したワイナリー事業へ進出します。ワインを通じて、地域の農業、観光振興に寄与し、地域資源の高付加価値化に貢献したいと考えております。



(3) 株式会社矢掛屋のコメント

日本最大の古民家宿泊施設「矢掛屋INN&SUITES」を運営し、江戸時代・参勤交代当時のお殿様・お姫様グッズも展示しています。本件は全国・海外からの観光顧客を招く矢掛町挙げてのプロジェクトです。開業8ヶ月で既に35,000人の来場者があり、地域商店街の売上も大きく伸ばし地域に貢献しております。



当行では、今後も地域社会の活性化・持続的な発展に向け、総合金融サービス力の向上に取り組んでまいります。

以 上